



ヒロシマ原爆投下からまもなく78年

ヒロシマ原爆投下から8月6日でまもなく78年を迎えます。夏の暑い日差しが照り付ける中、78年前の1945年8月6日午前8時15分ごろ、ヒロシマの上空に世界で初めて原子力爆弾が投下され、一瞬にしてヒロシマの地を焼き尽くし、そこにいた無実の住民までもが多くの犠牲となりました。また、8月9日には長崎にも原爆が投下されています。

J R 東労組青年部ではこの間、戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを「ヒロシマ現地学習行動」や「沖縄平和研修」、「5・15平和行進」を通じて学んできました。戦争で犠牲となるのは労働者や女性、子どもやお年寄りなど、いつも弱い立場にある人

たちです。何の罪もない人たちが戦争によって真の目的を果たすために権力者によって一方的に武力を行使され、尊い命が一瞬にして奪われてしまいます。また原子力発電=原爆ということもこの間の平和研修を通じて学んできました。



世界で唯一の被爆国であり、かつ東日本大震災で原子力発電所事故があったにも関わらず、原発再稼働の問題や「原則40年、延長20年」を超えて原発を運転できるようにするための閣議決定もされました。

戦争の真実を学んだ私たちが、二度と同じ過ちを繰り返さないためにも職場の仲間と議論し、核兵器も戦争もない平和な社会をめざすために、青年部から議論していきましょう！



**先達から平和のバトンを受け継いだ私たちが
いのちを守るために何をすべきか議論していこう！**